

2025年10月8日

高度なSDV実現のための データプラットフォームのあり方 - 海外OEMの事例などから

Aeris Communications合同会社

勝又 光一



本日の内容

01 Aeris概要

02 SDVと業界課題

03 事例

1. Aeris概要

30年近い知見と経験を背景に、世界のセルラーIoTソリューションをリード

ロケーション:

- アメリカ(本社)
- 日本
- イギリス
- インド
- ルーマニア

Aerisは、2つの事業部門を通じて、多様な業界にソリューションを提供しています



IoT

Aerisは、世界のCSPに向けたコネクティビティ管理プラットフォームを提供し、IoTソリューションの開発を加速し、導入をシンプルにします

Aerisのクラウドネイティブ技術は、自動車OEMにスピーディで柔軟な展開を可能にし、データ活用を最適化しながらTCOを大幅に削減します

Automotive



1. Aeris概要

主要なサービス



Aeris Mobility Suite

- コネクティッドカープログラム向けフルスタック・クラウドプラットフォーム
- マイクロサービスアーキテクチャーにより、
 - 必要なモジュールをご提供
 - サービス投入を最速化
 - グローバルにスケーリング
- 運用コストを最適化

1. Aeris概要

主要な拠点と役割



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



セールス
オペレーション



24時間365日のグローバルサービスオペレーション

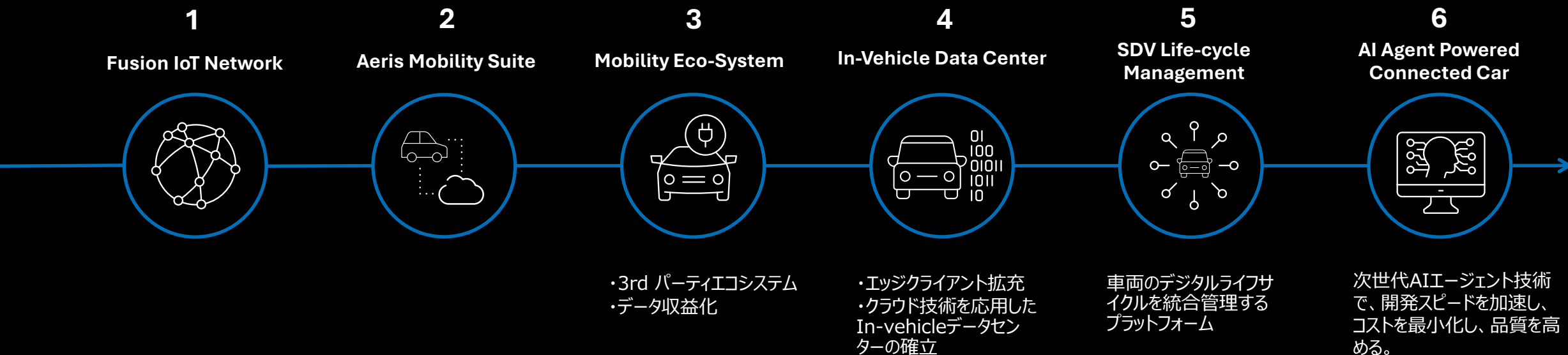


GSOCによるリアルタイムモニタリング



1. Aeris概要

今までとこれから



2. SDVと業界課題

SDVとクラウド

ユーザー目線

- 新しい機能が追加できる
- 空間をパーソナライズできる
- 新しい外部サービスと連携できる
- 安全性や利便性が向上し続ける



OEM目線

- ユーザー分析の商品・サービスへの反映
- 新しい収益モデルを展開できる
- 開発のスピードアップ
- 部品点数削減やOTAによるコスト削減



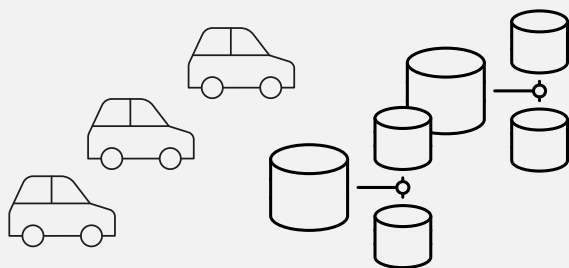
クルマは生涯クラウドにつながり続ける

2. SDVと業界課題

レガシーOEMの課題

分断化されたプラットフォーム

- 複数世代の車載デバイスとデータプラットフォーム
- 地域ごとに分断されたシステム



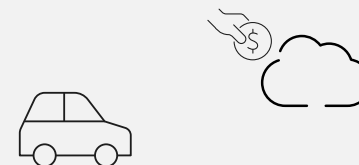
複雑なオペレーション

- 複数プラットフォームの監視・管理
- 問題発生時の解決時間
- 世代が増える毎に増す複雑性



インパクト

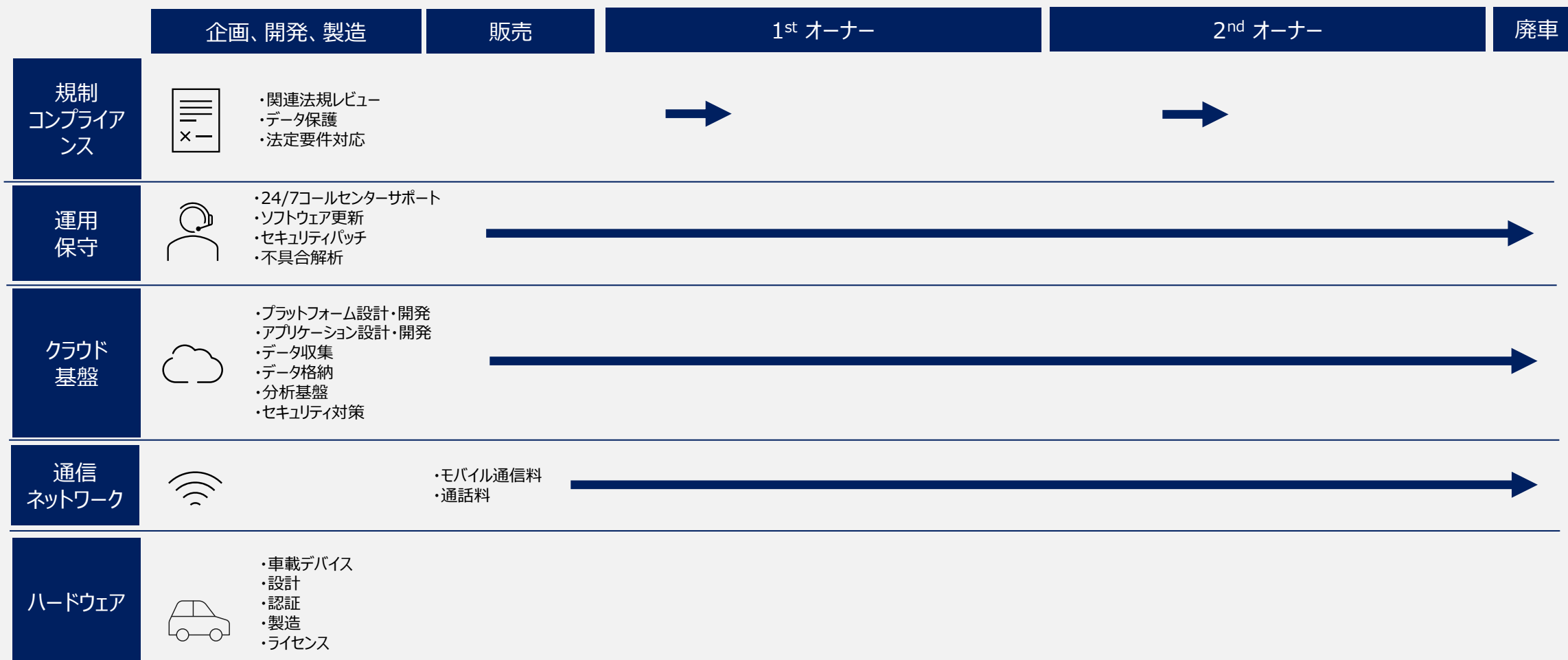
- 新機能やイノベーション創出の大きな障壁・・・SDV化の移行に足かせ
- TCO – Total Cost of Ownershipの膨らみ



2. SDVと業界課題

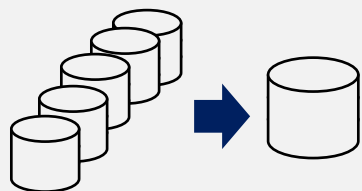
TCO: Total Cost of Ownership

車両ライフサイクル全体にわたるコネクティッド関連コストの総和



3. 事例

課題に対するアプローチとチャレンジ



プラットフォーム統合

デバイスとサービスのプラットフォーム
を統合アーキテクチャにまとめ、
コストと複雑性を削減



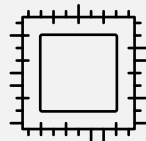
ゼロ・ハードウェア・ チェンジ

車両側での変更無し
コストと時間を削減する



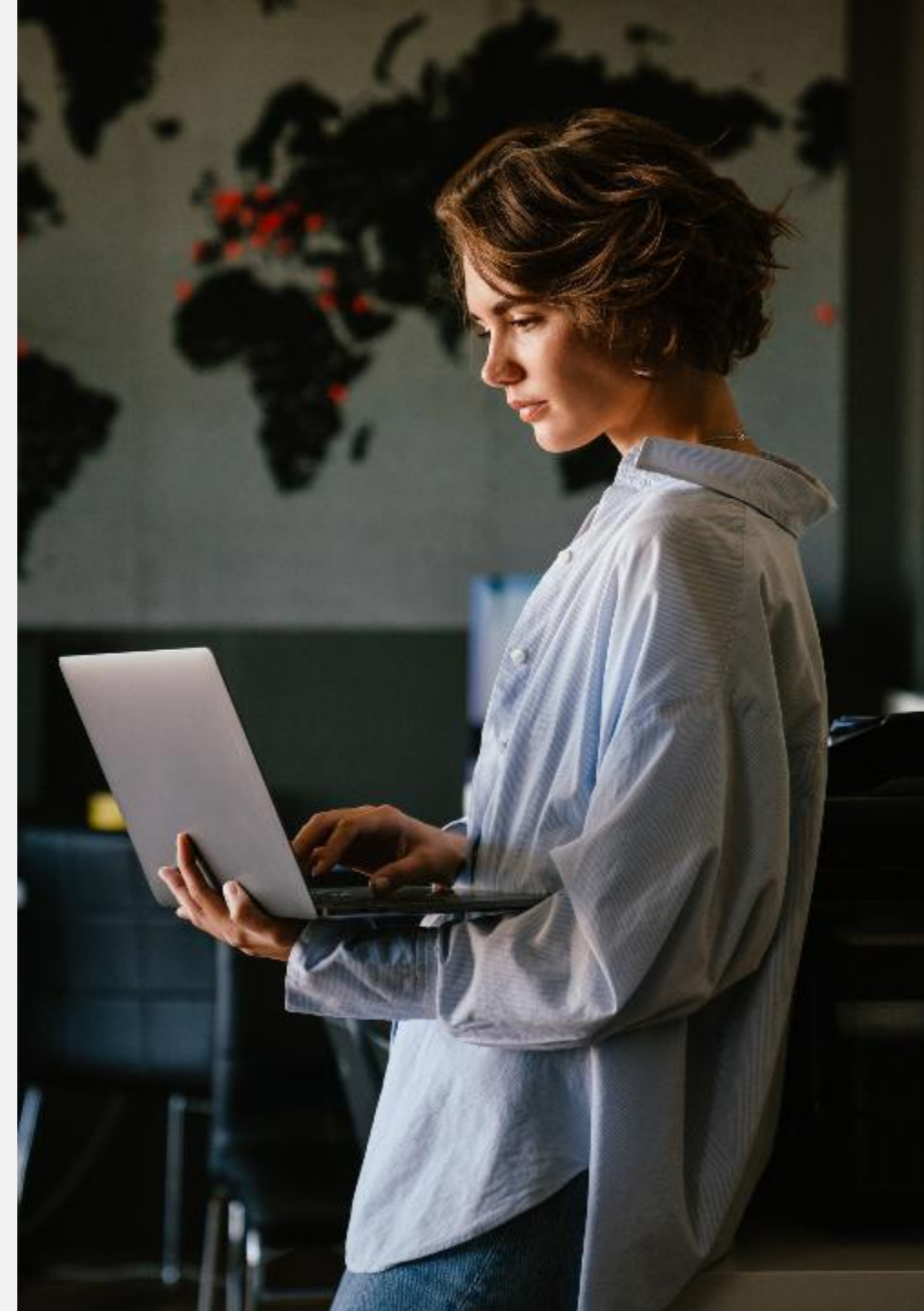
ゼロ・ダウンタイム移行

運用の中断無く、
段階的に移行する



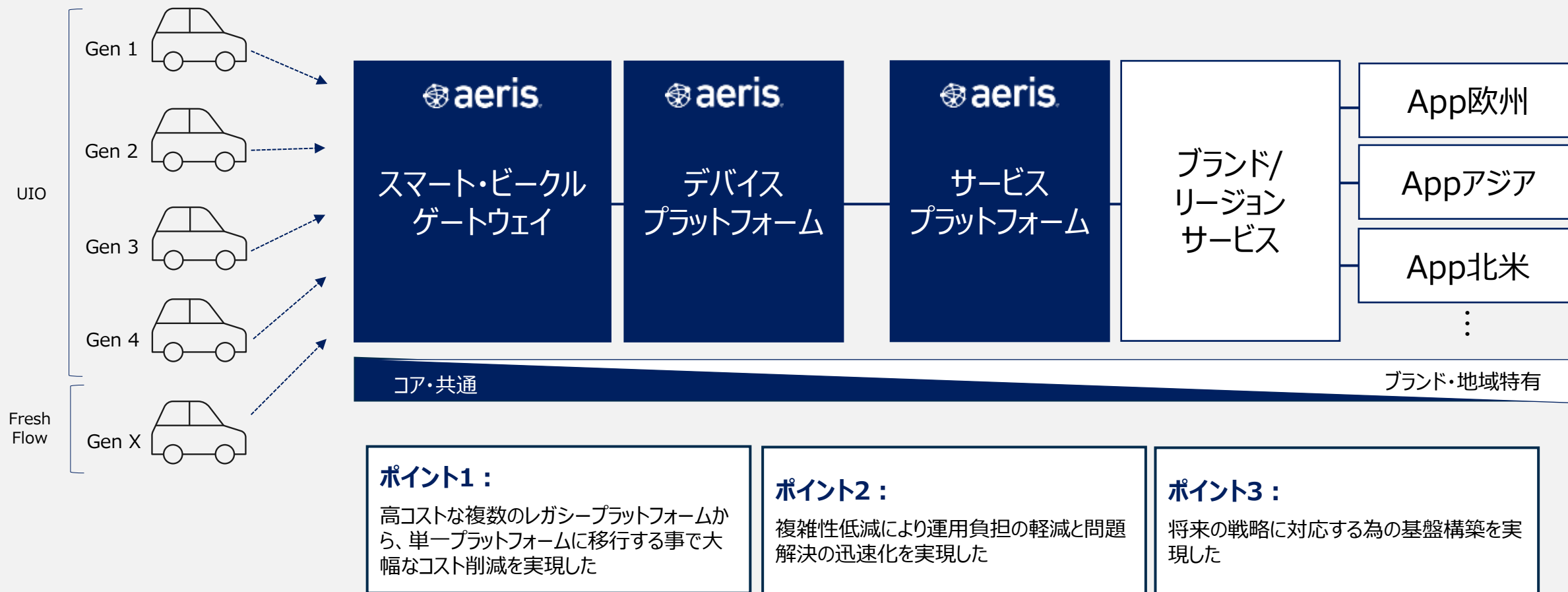
スマート・ビークル・ ゲートウェイ

車両とバックエンド間のシームレスな通信
を可能にする柔軟なブリッジを構築する



3. 事例

ソリューション





Thank you